

For adult only

看護婦 第六巻

カンゴ> ライ> ウ



For adult only



香

六

かん × コイコウ



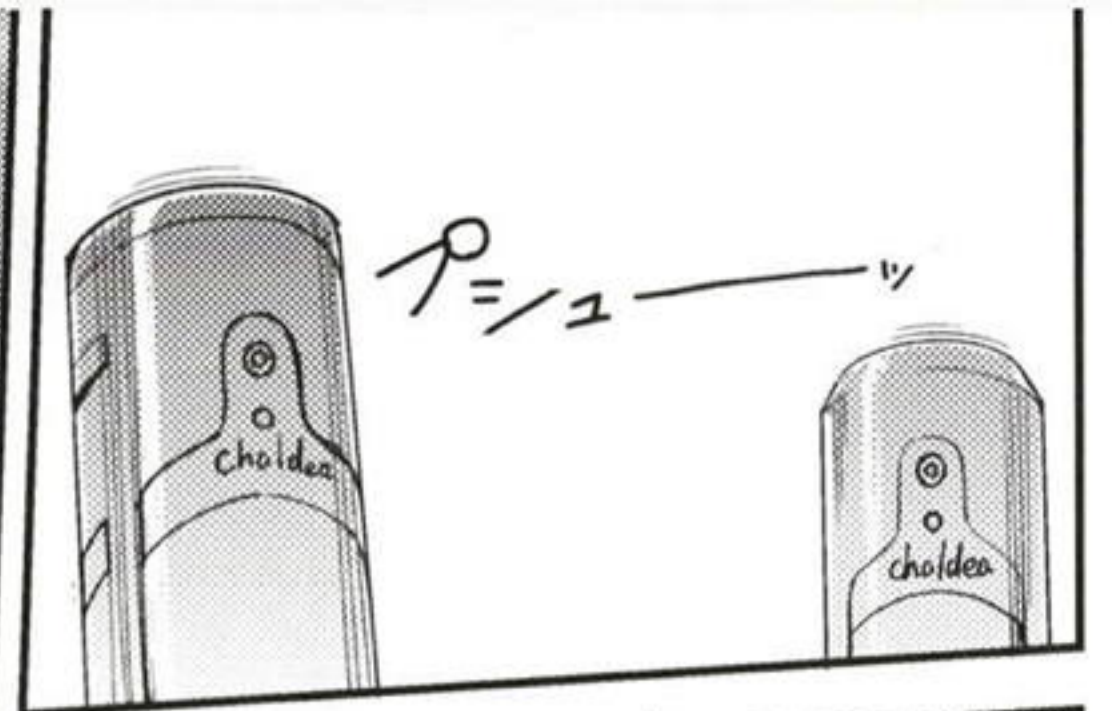


ゲエツ!!
頼光サン!!

しかも…
気持ち良い遊び
だなんて…

バイオレンチ (肉を放出・雷)

二人がいなくて
母はどんなに
心配していた
ことか…!!



どーよ
大将ーッ!!
ゴールデンな
朝焼けの
ドライルブ
は!?

まったく…昨日突然
強制レイシフト
させられた時は
何事かと思ったけど…



最っ高に
気持ち
良かった!!

二人して
朝帰りとは…



問答無用…!!



いいッ!?
大将いてぞえ
ずりいぞッ!!

ちょっと待ったアー!!
俺は金時に無理やり
連れ回されただけだから!!
ただの被害者だから!!
やるならこっちを!!



うおっ!!

これは…
愛の折檻が
必要ですね!!

くっ!!

!! 天恢 !!
!! 網恢 !!

ギヤ
!!
!!
!!

////////////////////
////////////////////

先輩：腕は
痛みませんか？

ああ…大丈夫

どうだマシユ
両腕とも
邪気眼みたいで
カッコいいだろ？

もう…
先輩はのん気
なんですから…

ホロ…
ったく…
頼光サンにも
困ったもんだ

対俺用の折檻を
大将が受けて
平気なわけ
ねえだろうに

両腕だけで
済んだのが奇跡だぜ

で…当の本人は…

母としての責任感と
マスターを傷つけた
罪悪感の狭間で
押し潰されそうに
なってるし…

あれで折檻そのものは
しつげとして
必要だったとして
頑として譲らねえんだぜ…
ホントめんどくせえお人…

傷病兵がいると
聞きました!!



そうですか！
しかし患者は
絶対安静です

看護従事者以外は
ご退室願います

だそうですので…

大袈裟
だな…

先輩、お大事に

二人とも
ありがとう

ま、暫く
養生するじゃんヨ



では
さっそく両腕を
切り落とします

覚悟は
宜しいですね！！

宜しくねーよ！！
そこまで
深刻じゃない
じゃんヨ！！



お願いが
あります…！！

一つ…

婦長様…



両腕が使えないのは
想像以上に不便だな…

そして暇だ…

しかし
まいった…

マスター…

お：お食事を
お持ちしました：

らららら頼光サンッ
そそのの恰好はッ？

清潔な恰好での
看護を条件に

婦長様から
マスターの看護を
許可して頂きました



ただ：
私のサイズが
ありません
でしたので
少し小さめ
ですが：

少し小さいか
相当小さい
ですねソレ！！

本来でも膝上20センチが
超超ミニくらいに
なっちゃってますよね！？

マスター：
やはり
こうなった原因の
私が看護するのは
お嫌ですか？

ヤバ：
泣く：
っ

そっそんなことは
決して！！

むしろ
お願いします！！

マスター！
♡



それにしても
頼光…
近くない…?

うわあ…!!
なんだこの
しあわせ空間!?

はいマスター
あ〜〜ん♡♡

ふー
ふー
ふー



これは
ある意味
拷問だ!!



頼光的には献身的に
看護してるつもり
なんだろうが…!!

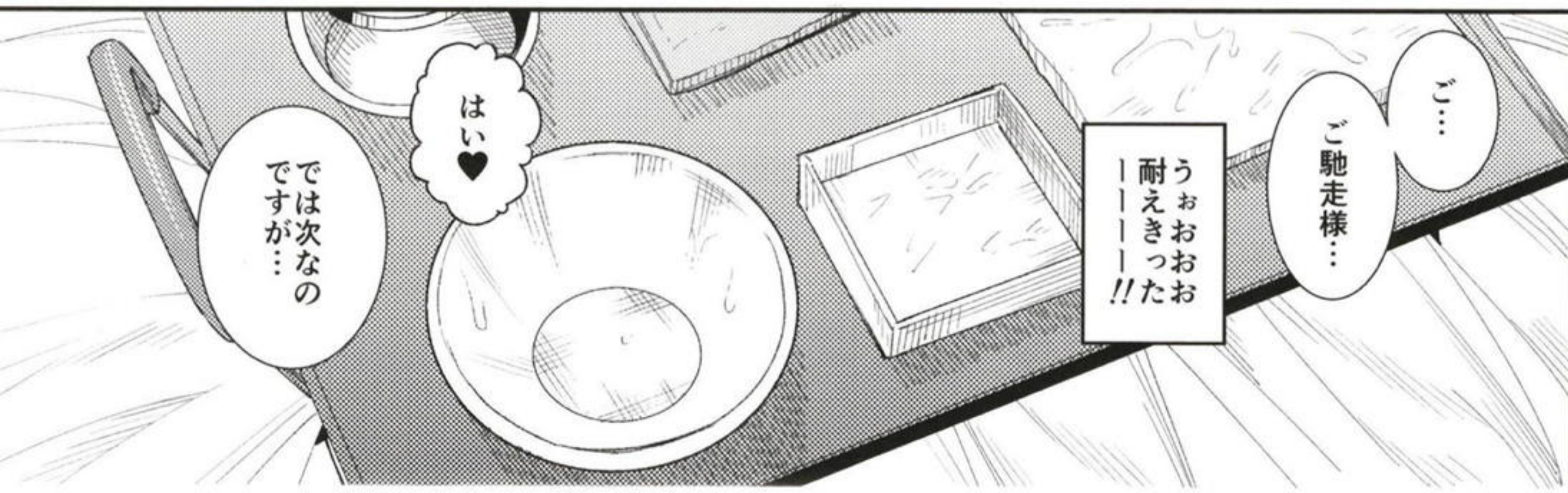


ってやっば
近い近い近い!!

お水もどうぞ

むぐっ

ぽよん



では次なの
ですが…

はい♡

うおおお
耐えきつた!!

ご馳走様…

…



マスター…
今朝から一度も
お手洗いに行けて
いませんよね…

は…?

とんっ



ちよちよちよ
ちよちよツツ
頼光サンツ!!??

動かないで
下さい

私のせいで自分で
お手洗いに
行けないのですもの

キッチンと責任をもって
そちらも面倒を
見させて頂きます

安心して下さい



しゅ…のきまざいっ

私たちは
愛し合う母と子の契約
(頼光はそう思っている)
を結んでいる身の上…
下のお世話くらい
恥ずかしいことでは
ありませんよ♥

いや…っ
本当に…っ

ナッ
ナッ

大丈夫
だから…っ!!

ゴッゴッ



あーっ

まあまあ
まあまあっ♡



ううう…
恥ずかしい…

うわああん!!!
見られたあ!!!



うん



これは只の
医療行為ですよ♡

えっ?えっ?えっ?
ららら頼光サンツ!?

大丈夫…♡



ちゃん

クク

マスターも
年頃ですものね
気が利かなくて
すみません



しかし
このままでは
お小水を出すのに
支障が出ますね
しましますね

うん

天井のシミを
数えている間に
終わります故…

ナニがーッ！
ーッ！

あむあむ♡

頼光の
ねっとりとした
唾液を絡ませる
ようなキス



はっ！

はあ

はあ



はあ

うわ…っ

はあ

頼光のおっぱい…
すごい迫力…

とぶっ
とるるる

ゆるゆる

ダメだ…
気持ち良くて…
抵抗…できない…



あむあむ♡



ふふふ…
恥ずかしいコトでは
ありませんよ
母の胸に甘えたい
ものなのですから

私の胸が
気になりますか…?

ん?!!

お

頼光の乳首…
ぬらぬら光って
エロすぎ…っ

はあ



興奮しているのに
不思議な感覚…

よしよし♡
母はここに
おりますよ♡

そのように
必死に吸われては
母心が溢れて
しまいます♡



まあ♡
マスターが
赤子のよう♡



こちらも
きちんとあやして
あげますからね

いけません…
私としたことが
つい夢中になって
しまっ…



あら…

ううっ!!

まるで赤ん坊を
あやすかのような
優しい手つきで
ペニスを愛撫される…

あ…これ…
子守唄…?

「いつでも射精して
構いませんからね♡」

そう言わんばかりの
どこまでも優しい
頼光の表情…

頼光の手はゆったりと
しかし確実に射精を
促してくる

無理…

も…

出るうう
ううう!!



精子吸い出されるうっ!!

ちよっ!?

まだ射精してるのに...っ!!

はむ

先ほどとはうって変わって意識が飛びそうな快感...!!

射精を補助するかのようバキキュムされる

全身余すところなく快感が駆け巡る...!!



はむ
はむ
はむ

はむ
はむ

はむ
はむ



優しく睾丸を揉みしだかれて最後まで出すよう促される...

無理い...っもお...
出ないからあ...っ

はむ
はむ
はむ
はむ

はむ
はむ
はむ
はむ



ええ♡
もちろんです♡

ぜ…全部…
飲んだの…？

めちやくちや沢山
出したはずなのに…

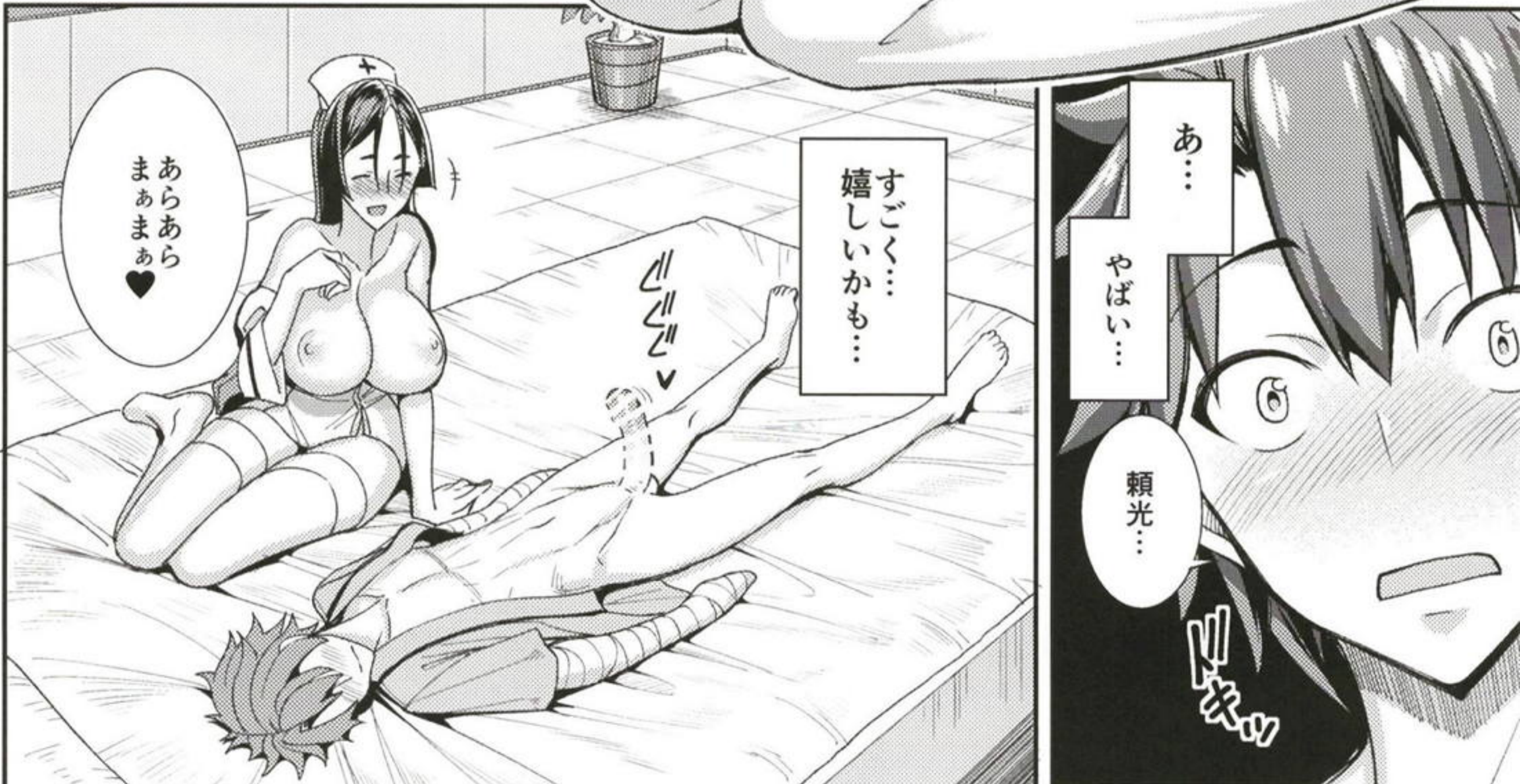
くちや♡
くちや♡



マスターの
大事な大事な
子種ですもの♡

くちやリ♡

一滴たりとも
無駄には
致しません♡



あらあら
まあまあ♡

すごく…
嬉しいかも…

あ…

やばい…

頼光…



マスター…

宜しければ
次はこちらを

お使い
頂けませんか…?

キムシ

くち…

しるる

うわあああああ
頼光の縦すじっ
綺麗すぎるうっ
!!!!!!

♥♥♥
はいい♥
マスター♥

頼光のナカ…
入れたいいっ!!

空っぽの精巢に
瞬間に精子を
充填していた

それを見た瞬間

オスとしての
本能が

世世世世

キムシ

キムシ



ふう...ふう...ふう...

頼光の引き締まった
身体とは裏腹に...

にゅわぁ♡

ふんわりとした
優しい挿入感...

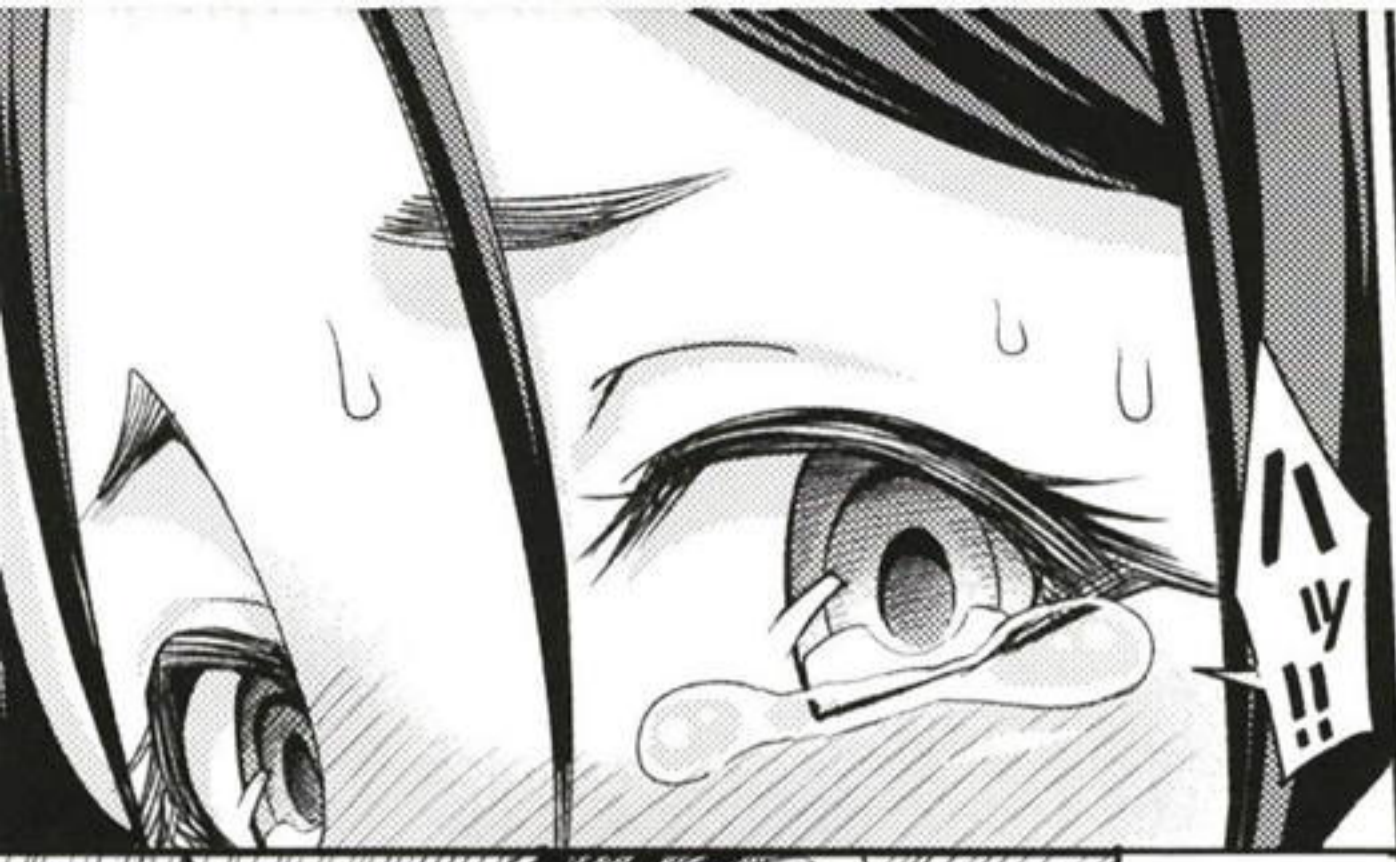


気持ちいい...っ!!



え...

涙...?



ハッ!!

え...??



こっ...
これは...っ

アセ
アセ

違うのです...っ!!



痛いのか頼光!?



マスターを
迎え入れられた
幸せで感極まっ
といますか...っ

ああ...っ
私は何を口走っ
ているのしょう...っ
恥ずかしい...っ

うわ...頼光
カワイイ...♥



私がすべてして
差し上げますので

マスターは只、
身を委ねて
下さい...♥

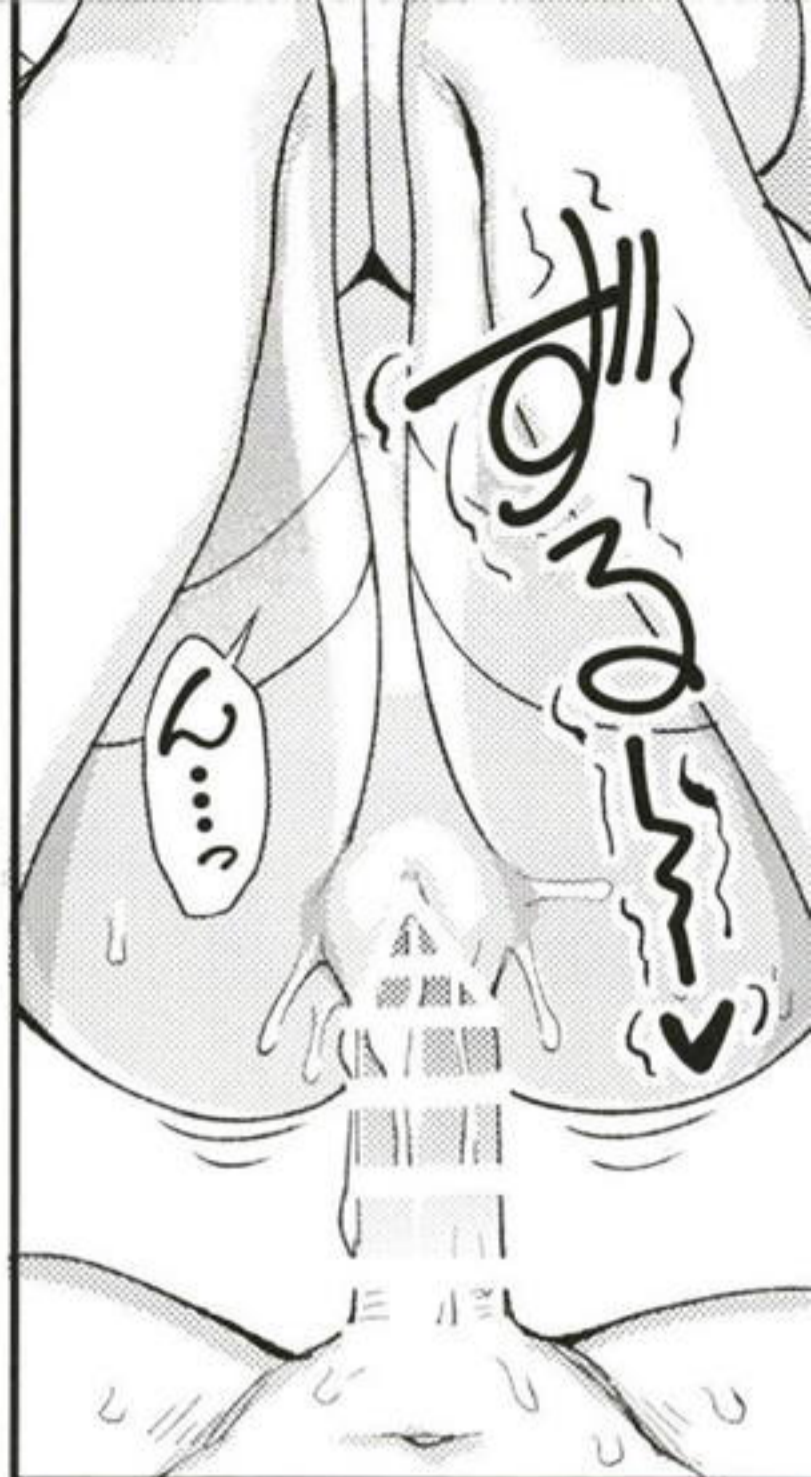
うわっ...!!!
急に...!!!
締まるううう!!!



とっ
とにかくっ



頼光は俺の反応を
つぶさに観察して

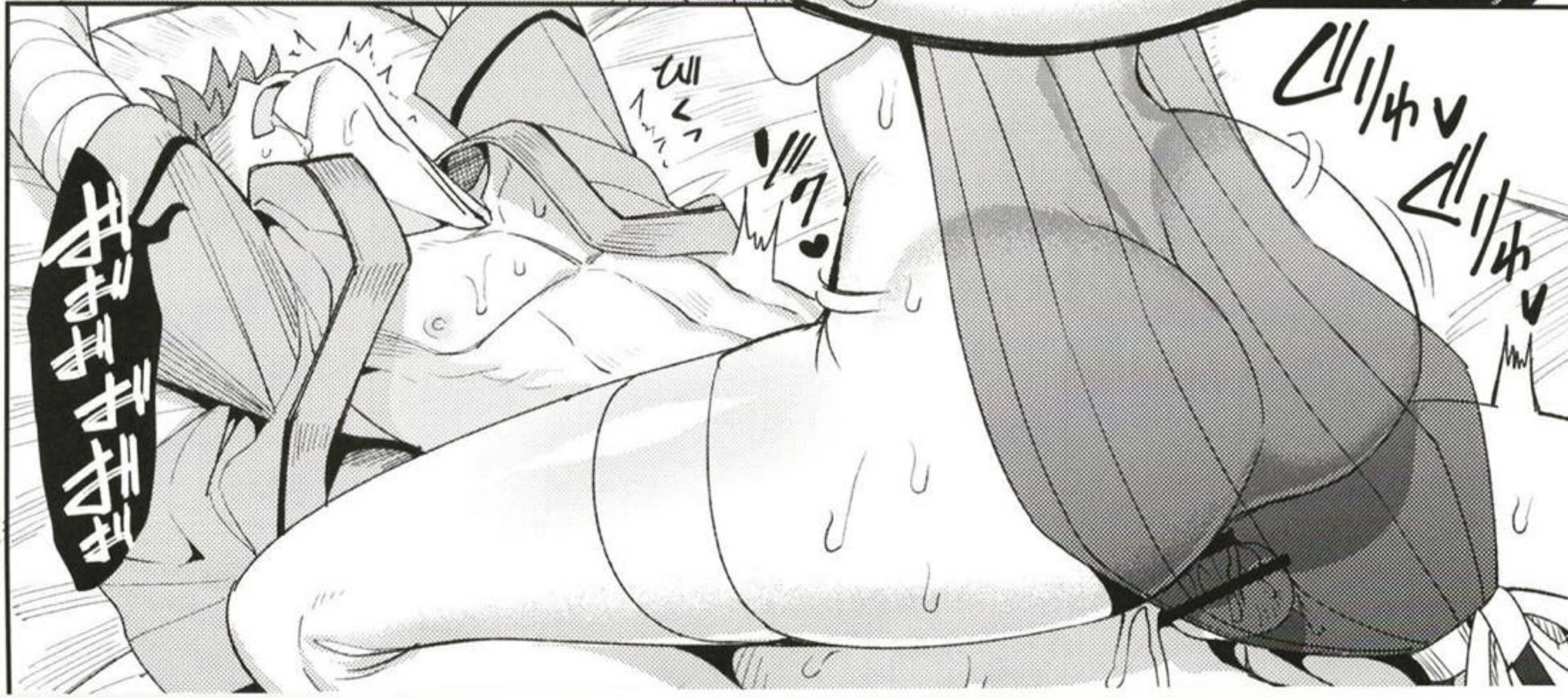


このような
締め付け加減が
お好みですか？♥



どうすれば俺が
最も気持ちよく
感じるのかを

どんどん学習して
いってる...!!





第一まだこんな硬いままではいいんですか♥

遠慮せずに吐き出していいんですよ♥

遠慮とかじゃな...っ

いや...っ

ああっ!!

ちゅんッ

ぐんぐん

私に負担をかけるようなことを...♥

マスターは本当に母親想いなのですね♥



あ...ダメだこの人...



思い込んだら聞かないタイプだった!!

そ、そうだ... 呪いなら... (回復するし) でも止めろなんて命令したら絶対後でめっちゃめっちゃ泣かれるだろうなあ...!!

頼光の機嫌を損ねずに止めるには...

びえええ

はぁん はぁん

アッ♥
アッ♥

止めるには...



我、令呪を以って
命ず…

マスター…!?
なにを…!?

すまん…!!
頼光…!!

源頼光の
性感よ…



限界まで昂じれ

頼光に先に
へバって貰う
しかない…!!



強すぎた!?

効果観面…

ってか…



よしよし
大丈夫ですよ
母はここに
おります故

安心してそのま
まに射精なさい

ヨロシク
ヨロシク

ヨロシク
ヨロシク

ヨロシク
ヨロシク

ヨロシク



マスター

うふふ
ケガが治るまでは
毎日二人つきりで
面倒を見ますからね

ヨロシク





～あとがき～

やったー！
半年かけて頼光が絆10になったー！
と思ったらランチタイムが
レアブリにきました。
初めまして&お久しぶりです。
朝峰テルです。

頼光マッマに
えっちな看護して欲しいなあ！
という想いだけで描きました。
楽しんで頂ければ幸いです。

読者さんに伝えたい想いは
大体漫画に描いてるので
いつもあとがきを書くことはありません。
読んで感じて？

しかし後から見ると
もっと上手に表現できたんじゃないか？
と思える部分ばかりです…。
精進せねば…。

来年(今年?)また単行本も出ますので
そちらもよろしくお願ひします。

朝峰テル

奥付
発行:こーひーめーかー
発行者:朝峰テル
印刷:ねこのしっぽ様
発行日:2017/12/31/
コミックマーケット93
Mail:sikuhaku_1@hotmail.com
Twitter:@tel0coffeemaker



CoffeeMaker
2017Winter

